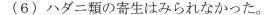
令和7年6月下旬の果樹巡回調査結果の概要について

【**東北信**】 巡回日 6月23、24、25日

- 1 りんご(東信3ほ場、北信8ほ場)
- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 褐斑病の発生はみられなかった。
- (3) 黒星病の発生は、北信1ほ場で果実に対してみられ、 発病果率は1.3%であった。
- (4) 斑点落葉病の発生は、東信3ほ場、北信3ほ場でみられ、 発病葉率は0.3~4.5%であった。
- (5) キンモンホソガの寄生葉 (マイン) は、北信1ほ場でみられ、被害葉率は0.2%であった。



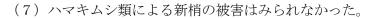




図1 りんご黒星病の果実病斑(北信地域)

2 ぶどう(東信1ほ場、北信5ほ場)

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) べと病の発生はみられなかった。
- (3) 黒とう病の発生はみられなかった。ただし北信の1ほ場で、当該ほ場の調査対象外である「シャインマスカット」に発生を認めた。
- (4) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

3 もも(東信2ほ場、北信4ほ場)

- (1) せん孔細菌病の発生は、東信2ほ場、北信3圃場でみられ、発病葉率は0.1~2.2%であった。
- (2) ハマキムシ類による新梢の被害はみられなかった。
- (3) モモハモグリガの寄生葉はみられなかった。
- (4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

※ウメのアブラムシ類は巡回調査では発生がみられなかった

【中南信】 巡回日 6月22、24、25日

1 りんご(南信5ほ場、中信5ほ場)

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 褐斑病の発生は、中信2ほ場でみられ、発病果そう率は0.7%~1.3%であった。
- (3) 黒星病、斑点落葉病の発生はみられなかった。
- (4) 腐らん病の発生はみられなかった。
- (5) キンモンホソガの寄生葉 (マイン) は、南信1ほ場で みられ、被害葉率は2.0%であった(図2)。
- (6) リンゴハダニの発生はみられなかった。ナミハダニの発生はみられなかった。リンゴサビダニの寄生はみられなかった。
- (7) ハマキムシ類の発生は、みられなかった。



図2 キンモンホソガの寄生葉(中信地域)

2 なし(南信7ほ場、中信1ほ場)

- (1) うどんこ病、黒斑病、黒星病の発生はみられなかった。
- (2) アブラムシ類の寄生はみられなかった。
- (3) カメムシ類、シンクイムシ類の被害果はみられなかった。
- (4) リンゴハダニの寄生はみられなかった。 ナミハダニの寄生はみられなかった。
- (5) 赤星病の発生が南信の1ほ場でみられた(図3)。

図3 赤星病の発生葉(南信地域)

3 ぶどう(南信2ほ場 中信3ほ場)

- (1) べと病の発生は、みられなかった。
- (2) うどんこ病、黒とう病の発生は、みられなかった。
- (3) チャノキイロアザミウマの発生は、みられなかった。

4 もも(南信1ほ場、中信1ほ場)

- (1) せん孔細菌病の発病葉が、南信1ほ場、中信1ほ場でみられ、発病葉率は0.2~1.1%であった。
- (2) ハマキムシ類の寄生はみられなかった。
- (3) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【侵入警戒病害虫】

りんご、なしの調査は場において、火傷病、コドリンガの発生はいずれもみられなかった。